



# ほけんだより

逆瀬川あゆみ保育園  
2026.6.1  
看護師 辰野

日中は気温が上がり、暑く感じる日が増えてきました。この時期は、身体がまだ暑さに慣れておらず、熱中症にかかりやすくなります。また、朝夕の気温差や湿度の高さから体調を崩しがちです。春からの新生活に慣れてくるころですが、しっかりと休息もとりながら、体調管理をしていきましょう。

## 「蚊」の季節です

蚊は皮膚に刺した瞬間に、麻酔効果のある唾液を注入して、痛みを感じさせなくします。すぐに痒くなる人もいれば、時間がたって痒くなる人もいます。また、大きく腫れあがったり、軽度の腫れで済んだり、この症状の違いは、アレルギー反応の違いが関係しています。子どもは大人と違って抵抗力が低いので、大きく腫れあがること多いかと思えます。



## 保育園での虫よけ対策

保育園では虫よけ対策として、「蚊取り線香を焚く」「園で指定した虫よけスプレーを使用する※」といった対応をとっています。蚊取り線香使用にて体調が悪くなる等の心配がある場合はご相談ください。また、ご自宅で虫よけシールの貼付やブレスレットを着用しての登園は、香りが強く近くにいるお子さんへ影響を及ぼしてしまったり、取れた際に誤嚥の可能性がある為、原則として園での使用をお断りしています。

※ 虫よけスプレーは2歳児・3歳児の夕方園庭へ出る時、園外散歩の時に使用します。

### ◇ 保育園で蚊に刺された時の対処 ◇

- 流水で刺された部分を洗う
- 保冷剤や氷などで冷やす
- ムヒベビーを塗布する

当園では、ムヒベビーを使用しています。



※ あまりにも腫れが強く、掻きむしって傷が出来てしまう場合は病院受診をお願いします。「とびひ」になってしまうと他の皮膚にうつってしまい、治りが悪くなります。

保育園では原則、軟膏塗布といった医療行為はできませんので、悪化する可能性がある場合早めの受診と対応をお願いします。また、登園の許可については医師の指示に従いますので、受診の際に医師に保育園に登園しても良いか確認をお願いします。

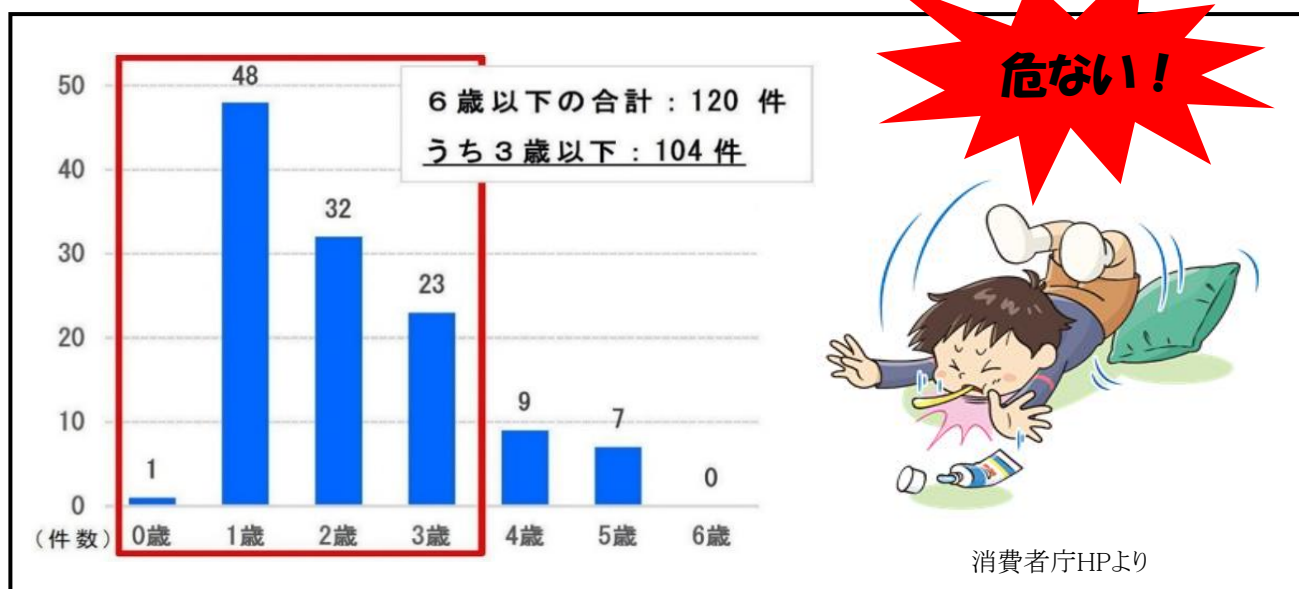
### \* 保護者の方へお願い \*

在園または他園で兄弟がおられたり、保護者の方で感染症を発症されている方は、職員にお伝えください。(理由として…周囲の感染拡大を予防するためと、状況の把握のため)

## 6月4日～10日は「歯と口の健康習慣」です

歯と口を健康に保つためには、歯みがきの習慣が欠かせません。しかし、歯磨き中に転んで、歯ブラシをのどや頬に突き刺してしまう歯ブラシによるのど突き事故が発生しています。

平成28年4月から令和3年3月末までに、6歳以下の事故情報が120件報告され、そのうち3歳以下の事故が104件となっています。報告された事故の中には、歯ブラシが口の中やのどに刺さって集中治療室に入室する必要が生じたなどの重大な事例が含まれています。歯ブラシによるのど突き事故などを防止するため、特に事故が多い1歳から3歳頃の子どもが自分で歯磨きをするときは、以下のことに気を付けましょう。



### 【のど突き防止対策を施した歯ブラシの例】

- ① 保護者がそばで見守り、床に座らせて歯磨きをさせましょう。子どもが歯ブラシを口に入れたり、手に持ったりしたまま歩き回ると、転倒してけがをする危険があります。
- ② 子ども用歯ブラシは、喉突き防止対策を施したものを選び、保護者が仕上げ磨きをする歯ブラシと使い分けをしましょう。



逆瀬川あゆみ保育園では、3歳児にブラッシング指導を行いますが、実際に歯みがきはおこなっておりません。給食後にブクブクうがいを実施していく予定です。